

## 重点事務事業進行管理表

年度	令和7年度	No.	4	進行管理者	危機管理担当部長
事務事業名	DX・デジタル化推進事業（防災DX推進事業）				
事業の概要	甚大化する自然災害等に備え、災害対応の効率化と効果的な災害対策を実現するため、防災分野におけるDXを推進する事業				
これまでの経過	令和6年6月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において、防災DXの更なる推進が掲げられた。本市における防災DXに係る取組は、令和6年度からSNS（LINE）等を活用した気象情報の自動配信、災害情報の一括配信を始めたほか、国や都が導入しているアラート（災害情報共有システム）や東京都災害情報システム（DIS）等を活用した情報収集・管理・共有を行っているところである。				
本年度の予算措置	総事業費	0 千円		うち 一般財源	0 千円
本年度の目標	避難対応の効率化及び迅速化を実現するため、避難所運営等へのデジタル技術活用の検討及び防災訓練等での実証を踏まえ、本市における今後の防災DXの方向性や避難所運営支援システム（以下「システム」という。）の導入に向けた仕様を検討する。				
上半期の計画と実績	計画	・類似システムの機能比較・ヒアリング・選定、モデル仕様書による見積徴取（4月～5月） ・東京都市長会防災DX実証事業「防災DXツールトライアル」への参加・実証（6月～8月）		実績	・複数業者へのヒアリング及び各製品の機能比較を行い、運用体制を検討した。 ・東京都市長会防災DX実証事業「防災DXツールトライアル」に参加し、システムの機能確認等を行った。（6月～8月）
下半期の計画と実績	計画	・総合防災訓練でのシステムの実証（10月） ・実証等に基づく防災DXの方向性及びシステムの導入に向けた仕様の検討（11月～令和8年3月）		実績	
中間評価	達成度	目標以下      ・ <span style="border: 1px solid black;">目標どおり</span> ・      目標以上			
	取組の成果	・システムに求める機能を検討し、調達を想定する製品として、2製品を選定した。 ・引き続きシステムの導入に向けた検討をしていく。			
期末評価	達成度	目標以下      ・      目標どおり      ・      目標以上			
	取組の成果				
	事業費の実績	総事業費	千円	うち 一般財源	千円
	今後の方針				